

なごみの食卓

地産地消と食育通信

Vol.13
2018年11月号
TAKE FREE
発行／株式会社なごみの食卓



Granola Stollen

グラノーラシュトレン

レシピ制作 坂下美樹

（材料1個分）

強力粉、薄力粉	各100g
アーモンドブーツドル	20g
塩	3g
六八(シナモン、ナシメグなど)…小さじ1/4	30g
ラム酒	80g
フルーツグラノーラ	大さじ1
無塩バター	40g
卵	1個
ドライイースト	2g
グラニヨー糖	適量
打ち粉用強力粉	適量
仕上げ用無塩バター!	30g(溶かしておく)

牛乳

70g

40g

ご飯と相性ピッタリ! 「乳和食」で元気な身体づくりを!

北海道米 LOVE
北海道米販売拡大委員会

こんにちは坂下です、皆さんは「乳和食」という言葉を聞いたことがありますか?

今回は酪農学園大学の宮崎先生に、

話題の「乳和食」についてうかがいたいと思います。

坂下 まず「乳和食」とはいつどういった料理なのでしょうか?

宮崎 「乳和食」とは、和食の出汁や調味料、または水のかわりに牛乳を使う新しいスタイルの和食です。見た目や味は、牛乳を入れていない通常の和食とそれほど違いはありません。味噌や醤油などの伝統的調味料に、「コク味」や「旨み」を含んでいる牛乳(成分無調整牛乳)を組み合わせることで、食材本来の風味や特徴を損なわずに、食塩の量を減らして美味しく和食を食べてもらう調理法です。

坂下 和食というと出汁をとつてから、という概念をなくして、牛乳を使うことで手軽に作れるというところも魅力的ですね。

宮崎 牛乳には、旨みや甘みは勿論、わずかな塩味や苦み、酸味があります。これが出します。和食は、ご飯を主食に、主菜や副菜に魚介類や野菜類を多く使い、脂肪分も少ないことから、健康的な食事と塩の摂取量が増えてしまうと

考えられていますが、実は食

れる牛乳をマッチさせることで、より一層健康的な食事と

いう弱点があります。また、カルシウムも不足しがちになってしまいます。その弱点を埋めするのが牛乳であり、使用方法によってその魅力を活かすことができます。

鯖のミルクみそ煮

◆材料(2人分)
さば2切れ…(各75g) 牛乳…100ml
酒大さじ…2 砂糖…大さじ1
〔A〕みそ…大さじ1
赤唐辛子…1本(半分にして種を除く)

◆作り方
1. 鍋にAとさばを入れ、牛乳を注ぐ。
2. クッキングシートで落とし蓋をして強火にかけ、ふつふつとしたら中火よりやや弱火で約10分煮て、そのまま冷ます。

レシピ提供:小山浩子・一般社団法人Jミルク 写真提供:一般社団法人Jミルク
Jミルク「乳和食」HP:<http://www.j-milk.jp/nyuwashoku/index.html>



食育通信なごみの食卓
vol.13 [11月号]

[発行元]
株式会社なごみの食卓
札幌市中央区大通り西17丁目2-1
<http://www.nagomitable.com/>

[企画・編集]
アズーリ
札幌市中央区南3条東1丁目4番1005号

■ご連絡・問合せ

アズーリ「食育通信なごみの食卓」
担当 岡本
TEL.011-219-5758 FAX.011-219-5858

食育通信なごみの食卓のバックナンバーを見る事ができます。<http://azzurri.info/>

えいようとせいちよう

管理栄養士/坂下 美樹



宮崎 早花先生

■プロフィール
管理栄養士・酪農学園大学農食環境学群循環農学類 講師
2014年～乳和食推進リーダー

12月に入り、寒さが一気に増してきたころ、暦の上での季節の境目「冬至」と同じ「つ」で立冬と立春の真ん中にある節氣で、一年の中で最も昼が短く夜が長い日ですね。今年は12月22日がそれにあたります。冬至には、「ん」のつくものを食べると「運」が呼び込めるといわれています。にんじん、だいこん、れんこん、いんげん、きんなん、かんてん、きんかん、うどんなどを食べることを「運盛り」といつて、で煮立たせることです。このことにより、牛乳が分離して、白色から透明色に変化し、旨みの凝縮された煮汁となりますが、それが乳和食なんですね。

宮崎 はい、その魅力を伝えるために、本学では乳和食の授業を実施しております。また、学外でもミス北海道米の方々とコラボレーションし、「お米に合う乳和食」をテーマとしてセミナーを開きました。今回ができますが、それ以降の年代のご家族にとってもカルシウム摂取と減塩の両方できることができます。

坂下 小・中学生のうちは給食の牛乳でカルシウムの摂取ができますが、それ以降の年代のご家族にとってもカルシウム摂取と減塩の両方できることができます。ご飯にとても良い「鯖のミルクみそ煮」をご紹介いたします。ご飯にとても良く合う一品です。

坂下 もともと乳和食は「おいしい減塩法」として注目され始めたのですが、塩分を控えめにするということは、高血圧の方だけではなく、成長期のお子様にとっても大事なことです。子どもの頃から薄味に慣れることは将来、生活習慣病のリスクを軽減させることがあります。

宮崎 もともと乳和食は「おいしい減塩法」として注目され始めたのですが、塩分を控えめにするということは、高血圧の方だけではなく、成長期のお子様にとっても大事なことです。子どもの頃から薄味に慣れるることは将来、生活習慣病のリスクを軽減させることがあります。

坂下 ぜひ皆さんもご家庭でお試しください。

宮崎 ポイントは、調理の始まりから牛乳を入れて「強火」で煮立たせることです。このことにより、牛乳が分離して、白色から透明色に変化し、旨みの凝縮された煮汁となりますが、それが乳和食なんですね。

坂下 調理するときのポイントはありますか?

宮崎 ポイントは、調理の始まりから牛乳を入れて「強火」で煮立たせることです。このことにより、牛乳が分離して、白色から透明色に変化し、旨みの凝縮された煮汁となりますが、それが乳和食なんですね。

坂下 なるべく栄養をつけて寒い冬を乗り切る意味合いもあります。冬至で食べる食べ物の中で一番有名なものはかぼちゃですが、かぼちゃは「南京(なんきん)」ともい、「ん」のつく食べ物です。かぼちゃに多く含まれるビタミンAは鼻やのどの粘膜の材料となり、ウイルスの侵入を防ぎ、免疫力アップ、風邪予防、ガン予防につながります。ビタミンAは油と一緒に摂ると吸収が高まるので炒めてから煮たり、茹でてマヨネーズであえたサラダなどがおすすめです。また、冬至といえばゆず湯に入るといふかねといわれますが、ゆず湯には血行を促進して、冷え性を緩和したり、身体を温めて風邪を予防する効果もあるようです。

冬至の一番冬の寒さが厳しい時期に、かぼちゃを食べてゆず湯に入るという風習は先人の知恵だったのですね。